四国がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問合せ先にご連絡ください。

① 該当者	2000年1月1日～2024年12月31日の期間に当院にて、消化管の病変に対して内視鏡的に検査や治療を受けた患者さん			
② 研究課題名	人工知能による悪性判定感度100%胃生検自動判定システム開発に向けた多施設共同予備研究			
③ 実施予定期間	2019 年 11 月 ～ 2025 年 9 月			
④ 実施機関	国立病院機構 呉医療センター			
⑤ 研究代表者	氏名	倉岡 和矢	所属	呉医療センター 病理診断科
⑥ 当院の研究責任者	氏名	寺本 典弘	所属	四国がんセンター 病理科
⑦ 使用する試料	上記①記載の患者さんの病理標本デジタル画像およびその疾患部位の情報を収集します。 対象となる病理標本のデジタル画像は、既に病理診断してある病理標本から、当院臨床研究部に設置してある株式会社エビデント製バーチャルスライドシステムを用いて取得されたものです。 なお、デジタル画像では十分な成果が得られない特異な病理像に対しては、個人情報を除いた数枚のHE染色標本を作成し、株式会社エビデント及び関係会社が社内にて集中的な検討を行います。※収集する画像および診療情報は、研究終了後5年以上厳重に保管され、適切な方法で破棄されます。なお、本研究で作成された匿名加工情報は破棄の対象外とし、エビデントにて適切に保管されます。 ※当院の研究責任者および研究分担者，株式会社エビデントの研究責任者（中島千賀）および研究分担者などが収集する画像および診療情報を取り扱います。			
⑧ 目的	この研究の成果を用いて、病理医の病理診断業務をサポートし、患者さんの治療に役立つような画像診断補助ソフトウェアを開発することを目的としています。 画像診断補助ソフトウェアとは、例えば、作成された病理標本から“胃がん”という診断を推定することで、病理医の判断を補助するものです。 本研究で作成された匿名加工情報については、本研究以外の目的で二次利用する可能性があります。			
⑨ 方法	全国の研究参加施設および当院において収集され、個人情報を削除して仮名化加工された病理標本のデジタル画像を、ハードディスク等の電子媒体に移したうえで株式会社エビデントに送付します。 当院と株式会社エビデントにおいて、デジタル画像および疾患部位の情報が解析されます。 また、特異な病理像を含むHE染色標本は、その病理像を示す病巣を含むホルマリン固定・パラフィン包埋ブロックから作成し、個人情報を含まない番号で管理します。 上記の画像および情報は、エビデント社にて匿名加工情報に変換し、安全管理措置の下で保管します。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2019 年 11 月 15 日		
	院長承認日	2019 年 11 月 15 日		
⑪公表	個人情報は保護したうえで、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。			
⑬知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。			
⑭利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。			
⑮問い合わせ	連絡先	寺本 典弘	電話	089-999-1111（代表）
	四国がんセンター 病理科			

四国がんセンター院長